

慶應外語 2020年春学期		シラバス Syllabus	
外国語科目	レベル	曜日	担当講師名
ロシア語	中級	月曜日	山田徹也
講座名	映画でロシア語(文法4)		
使用テキスト	こちらでプリントを用意します。基礎級、初級から進級してきたかたはそれまで使ってきた教科書を持参してください。		

当講座の目標

当講座はロシア語の基礎文法をひととおり修了した方を対象とし、文法を理解するだけではなく、使いこなせるようになることを目標としています。教科書を見ずとも必要な文法事項を瞬時に思い出せるようになることを目指していきましょう！

文法以外には聞き取りに対しても重点をおいた授業を行います。例えば検定試験3級からはロシア語の聞き取りについてもテストが行われ、ロシア語の読み書きだけでは試験通過は望めません。聞き取りはどの言語においても難しいですが、ロシア語のような変化の多い言語の場合、その変化が逆に聞き取りにおける障害にも武器にもなってきます。これまでにやってきた文法知識を定着させ、それを聞き取りへと応用できるようにする。あるいは逆に正しく聞き取ることによって文法力を養う。それこそがこの講座の大きな目的です。

授業の内容

授業ではまず最初に文法事項の復習から入ります。基本的なところから少しずかしいところまで今までばらばらに習っていた文法事項を整理していきましょう。また本講座では基礎級、初級ではふれられなかつた形動詞や副動詞の解説と復習も行います。

文法事項の確認後、映画やアニメーションを見て楽しみつつ、聞き取りを行ないます。特にその日に復習した文法事項を中心とした聞き取りをしていきましょう。

主な聞き取り対象としては「チェブラーシカ」、「Y計画」、「モスクワは涙を信じない」、「ストーカー」を予定しています。どれも興味深い映画で、ロシア文化の理解にも役に立ちます。

ただし時間の都合上、聞き取りは映画全体ではなく、いくつかのシーンを聞き取るということになります。またみなさんの習熟度や希望によって映画を変更する場合もあります。

注意点

シラバスはあくまで目安です。授業のスピードは受講生の皆さんにあわせますので、シラバス通りにいかないこともあるかもしれません。特に文法の復習と映画の聞き取りに用いる時間の配分に関してはできるだけみなさんの希望に沿って行いたいと思っています。

授業中に理解できなかつたことは、授業中を含め、いつでも遠慮なく質問してください。

講座日	講座の計画
4月13日	まずは簡単なテストとその解説を行います。自分の実力を把握してみましょう。 <u>形容詞、名詞の格変化</u> 形容詞の格変化も含めた名詞の変化を耳で感じていきましょう。聞き取りとしては簡単な文を聞き取ってみましょう。
4月20日	アニメ「チェブラーシカ」① <u>仮定法</u> 聞き取りつつ、仮定法の勉強していきましょう。
4月27日	アニメ「チェブラーシカ」② <u>仮定法</u> 聴き取りつつ、仮定法の勉強の続きをしていきましょう。

5月11日	映画「モスクワは涙を信じない」① <u>完了体と不完了体①</u> 完了体と不完了体について解説します。
5月18日	映画「モスクワは涙を信じない」② <u>完了体と不完了体②</u> 前回に引き続き完了体と不完了体について解説します。使い分けができるようになります。
5月25日	映画「モスクワは涙を信じない」③ <u>完了体と不完了体③</u> 体の様々な問題を解いていきましょう。
6月1日	映画「Y計画」① <u>副動詞</u> 副動詞について学習しましょう。
6月8日	映画「Y計画」② <u>形動詞①</u> 複雑な形動詞の内、能動形動詞について考えていきましょう。
6月15日	映画「Y計画」③ <u>形動詞②</u> 被動形動詞を学びましょう。
6月22日	映画「ストーカー」① <u>形動詞③</u> 被動形動詞の短語尾について解説します。
6月29日	映画「ストーカー」② <u>形動詞④</u> 様々な問題をといて形動詞を習得しましょう。
7月6日	<u>授業の振り返りと確認</u>